

こんにちは!

村立東海病院



3階の一般病棟をご紹介します!

■どんな患者さんが入院しているの?

村立東海病院の3階は、内科、整形外科、外科、小児科の混合病棟となっています。病室は4人部屋が6室、1人部屋が12室、特別室が2室と、観察室(2床)があります。3階病棟では、緊急入院や手術を目的とした入院を受け入れており、骨折などの緊急手術にも対応しています。

主に急性期の患者さんが入院していますが、脳梗塞や肺炎のほか、生活習慣病(高血圧・糖尿病・高脂血症)など、幅広い疾患の治療をしています。

手術目的で入院する患者さんも多く、整形外科では、主に人工関節置換術や骨折の手術を行っています。特に高齢者に多い大腿骨頸部骨折には、緊急手術を行える体制を整えており、手術後リハビリテーション室と連携して、早期に元の生活に戻るよう取り組んでいます。外科では、消化器疾患の手術や1泊2日の短期間で鼠径ヘルニア根治術を実施した患者さんも入院しています。



■どんなスタッフが働いているの?

3階病棟では、看護師、介護福祉士、看護助手が、それぞれの役割を分担・協力して働いています。患者さんやご家族の皆さんとの会話を大切にしながら、悩みや不安を少しでも解決できるように日々取り組んでいます。地域の皆さんに親しまれ、何でも相談できて信頼されるスタッフとなることを目指しています。



■専属の看護師が看護してくれるの?

3階病棟では「プライマリ・ナーシング」を導入しており、1人の患者さんを1人の看護師が、入院から退院まで一貫して受け持ち、責任を持って看護ケアを行っています。

患者さんが入院すると、その日に担当看護師(プライマリ・ナース)を決定します。担当看護師はカンファレンス(会議)を開いて看護計画を立案し、患者さんが安心して入院生活を送れるように、看護業務に取り組みます。

入院中は、本人はもちろん家族の皆さんも不安や心配があると思います。相談したいことや疑問に思ったことがありましたら、お気軽に担当看護師に声を掛けてください。

第1回「新春コンサート」

2月1日、リハビリテーション室で、第1回「新春コンサート」を開催しました。これは「入院中の患者さんたちに、生の音楽に触れてもらいたい」という病棟スタッフの声に、ロック好きの薄井先生(内科医)とサービス向上委員会のメンバーが応え、バンド経験のある職員などを招集して実現したものです。

当日は「懐かしのメロディー」をテーマに1960～70年代のヒット曲を、アンコールを含めて全7曲演奏しました。ハーモニカによる「上を向いて歩こう」の演奏では、優しい音色と小気味良いリズムに思わず口ずさむ患者さんも。最後に演奏した「明日があるさ」では、歌詞カードを配ってみんなで大合唱。楽しいひと時となりました。



問い合わせ ■ 村立東海病院 (☎282-2188)、保健年金課地域医療担当 (☎287-0899)